



寺嫁まめこの ひとこと通信

お寺のことや仏教のことをもっと身近に！そんなことをまずは自分で感じてみよう～、と思いながら書いている寺嫁のつぶやき。毎月ほぼ8日に発行

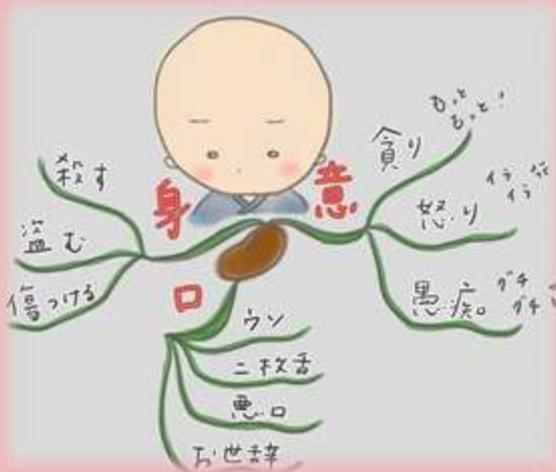
VOL.12 (令和元年11月発行)

こんにちは！今年もあと2か月。いかがお過ごしでしょうか？実はこのWEB上だけで発信することにした【まめこ通信】も、なんと、1周年を迎えました~~~~♪♪♪毎月、好きなことを好きなように書いているだけですが、これからも細々と続けていきますので、どうぞよろしくお願い致します^_^

～「ごめんなさい」のお経！？～

毎月8日、東光寺では布薩会（ふさつえ）を行います。布薩会とは、元々は修行している人たちが集まってお経をよみ、日々の行いをみつめ直し、これからの行いをよいものにしようと誓い合う場であったのがはじまりです。その布薩会で最初にお唱えするのが【懺悔文（さんげもん）】。

懺悔とは、簡単に言えば、悪いことをしてしまったことを心の底から反省して謝る、という感じですね。



さて、仏さまの心を持っている、という私たちですが、よく見てみると、悪い種も持っています。そして、そこからさらに悪い行いや、言葉や、気持ちが育っています。困ったものですね…

そんな私たちが幸せに生きるために、たくさんの約束が仏教にはあります。その一つが五戒（ごかい）と言われるものです。

～5つの約束～

- 1 殺さない。無益な殺生をしない。
- 2 盗まない。無駄にしない。
- 3 みだらな行いをしない。傷つけない。
- 4 言葉で人を惑わさない。
- 5 お酒を飲まない。飲まれぬ。

とはいえ、しっかり守り続けることは難しいですね。どうしても知らず知らずのうちに罪を犯してしまうのが私たちです。だからこそ反省！懺悔！です！



【懺悔文 （さんげもん）】



がしゃくしょぞうしょあくごう
我昔所造諸悪業
かいゆうむしとんじんち
皆由無始貪瞋痴
じゅうしんくいしししょう
従身口意之所生
いっさいがこんかいさんげ
一切我今皆懺悔

訳）わたくしが昔から造ったさまざまな悪い行いは、すべて初めのない遠い過去からの貪り（おさぼり）、瞋り（いかり）、癡さ（おろかさ）によって生じたものである。そのため身体と言葉とところから生じるすべての行為を、わたくしは、今懺悔いたします。³⁾



参考文献 1)「基礎講座 仏教入門 上巻」 宮田正勝 編 霊桃寺 2016年
2)「女性の仏教 日常編」 教化研究委員会 妙心寺宗務本所 2007年
引用文献 3)「お経 禅宗」p.12 桜井秀雄・鎌田茂雄 著 講談社 1983年